

うみとともだち

- 1 趣 旨 未就学児（年長園児）が海でできる遊びを体験し、その楽しさを味わうことにより、海好きなき子どもを育てる。
- 2 期 日 令和元年7月23日（火）
- 3 対象者 松下保育園（鹿屋市）の年長園児（5～6歳児）
- 4 参加者 31人（園児24人、引率者7人）
- 5 指導者 アウトドアショップキャメル 江口 智昭 氏
国立大隅青少年自然の家職員、ボランティア1人
- 6 場 所 高須海水浴場（鹿児島県鹿屋市）
- 7 日 程

主な活動
9:30 出合いのつどい
9:35 安全の約束（ライフジャケットの着用等）
9:45 砂浜へ移動・海遊び
10:30 休憩
10:50 安全面の説明（チューブの使い方等）
11:00 海遊び
11:30 スイカ割り・集合写真撮影
12:00 海遊び
12:30 片付け・着替え

8 事業運営上の配慮

- 海に初めて入る子どももいたため、恐怖心を少しずつ取り除けるように活動内容を段階的に計画するとともに、チューブや水中観察メガネ等を準備し、海遊びが楽しめるようにした。
- 人数把握と休憩・水分補給を十分行えるように、海遊びを3回に分けて行った。

9 引率者の感想

- ただの海水浴ではなく、“浮いてみる・探してみる・泳いでみる”などを体験することができ、子ども一人一人のよい思い出になった。
- 海に入る前に、海にはどんな魚がいるのか写真を見せながら話をしてくださったので、子どもたちも興味をもつことができ、とてもワクワクしていた。また、ライフジャケットの役割を知らせることで、ほとんどの子どもが恐怖心もなくなり楽しく活動できた。
- 浜辺は竹や枝、ガラスなど危険な物も多く落ちていたので、靴の用意もしてくださり、ケガ防止のためにとてもよかった。

10 成果

- みんなで浮かぶ・遊ぶ活動をしたり、チューブや水中観察道具を使ったりすることを通して海に親しむことができた。

